

東京女子大学比較文化研究所主催ティー・レクチャー

純潔運動、国家総動員、 「プラトニック・ラブ」



©日活「愛と死をみつめて」(1964年)

小檜山ルイ

現代教養学部教授


2023年11月17日(金)
13:15-14:45 (開場 13:00)
比較文化研究所 (4号館4階)

対象: 本学学生・教職員(先着受付・定員 35名)

申込先: hikaku@gr.twcu.ac.jp (11/15 締切、先着順)

※学生は CIS アカウントから申し込むこと。 ©03-5382-6413

◎<https://www.lab.twcu.ac.jp/~icsc/event/index.html>

 東京女子大学比較文化研究所

東京女子大学比較文化研究所主催ティー・レクチャー

純潔運動、国家総動員、「プラトニック・ラブ」



■講演梗概

1950年代から60年代前半に「純愛ブーム」があったことは、すでに指摘されている。そこでは、「純愛」の要素の中でも特に「プラトニック・ラブ」が強調され、明治の開国以来初めて、この日本の伝統にない恋愛の形が、ごく短期間、「純愛」のノームとなった。今回のティー・レクチャーでは、戦後に現れた恋愛において精神性を重んじるこの傾向の背景に、戦前にキリスト系諸団体を糾合して展開された「純潔運動」を据えてみる。1927年に成立した「純潔同盟」や1936年に婦人矯風会の掲げた「純潔日本の建設」の参照点の一つとしてアメリカが第一次世界大戦中に採択した「アメリカン・プラン」があったことを明らかにしつつ、クリスチャン主導の純潔運動がどのように当時の日本政府の戦争遂行の必要と結びつき、性病予防と男女関係の精神化の言説となっていったかを考えたい。

■講師紹介

小檜山ルイ Rui KOHIYAMA 現代教養学部教授

1957年生まれ。国際基督教大学卒業。ミネソタ大学大学院アメリカ研究プログラム修士課程修了。国際基督教大学大学院比較文化研究科博士後期課程(学術博士)。専門はアメリカ女性史・ジェンダー史、アメリカ・キリスト教史、日米関係史。著書に『アメリカ婦人宣教師—来日の背景とその影響—』(東京大学出版会、1992年)、『帝国の福音—ルーシー・ピーボディとアメリカの海外伝道—』(東京大学出版会、2019年)、『明治の「新しい女」—佐々城豊寿と娘・信子—』(勁草書房、2023年)、共著に『モダンガールと植民地的近代』(岩波書店、2010年)、『近代日本のキリスト教と女子教育』(教文館、2016)など。



上段:高村光太郎と智恵子 下段:高村光太郎「レモン哀歌」(『高村光太郎』筑摩書房、1956年)

レモン哀歌

そんなにもあなたにはレモンを待つてあなた
かたくて白くあかるい花の床で
あなたの手からとつた一つのレモンを
あなたにのまれたいな世がかりと噂んだ
トバアズいりの香気が立つ
その数滴の天のものなるレモンの汁は
はつとあなたのお胸を正當にした
あなたのお胸に涙がすすりかすかに笑ふ
あなたの子を授かるあなたの方の抱きまよ
あなたのお胸に涙がすすりかすかに笑ふ
あなたの子を授かるあなたの方の抱きまよ
かういふ命の運命を
レモンはもとの智慧子となり
生涯の愛を一粒にかなむけな
それからひと時
昔に歸してやうな泣き声を一ツして
あなたのお胸はそれなり止まつた
アタの胸に挿した花の花かげに
すすりく光るレモンを今日も置かう

2023. 11. 17(金) 13:15~14:45(開場:13:00) 比較文化研究所(4号館4階)

対象:本学学生・教職員(先着受付・定員35名)

申込先:hikaku@gr.twcu.ac.jp(11/15締切、先着順) ※学生はCISアカウントから申し込むこと。

©03-5382-6413 ©https://www.lab.twcu.ac.jp/~icsc/event/index.html

 東京女子大学比較文化研究所